



# S ステージボアアップキット 124cc 取扱説明書

ボア径：53.5mm ストローク：44mm（ノーマル） 排気量：123.6cc

- ・この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
  - ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。
- イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

商品番号 : 01 05 0071 (カムシャフト付属)  
 : 01 05 0070 (カムシャフトレス)  
 適応車種 : Dio110  
 フレーム番号 : JF31 1000001~

## 特徴

- ・ノーマルシリンダーヘッドを使用し、ボアアップするキットです。ピストン径を 50mmから 53.5mmにボアアップし排気量を124ccに、圧縮比を9.0:1から11.8:1にアップする事で力強いトルクが感じられます。
- ・弊社製エキゾーストマフラとの組み合わせにより更なるパワーアップが望めます。

## 正しく安全にご使用頂く為に

### 使用燃料についてのご注意

このキットは、ノーマルに比べて高圧縮比となるように設定しておりますので、燃料は必ずハイオクタン価ガソリンを使用して下さい。レギュラーガソリンを使用すると異常燃焼を起こして本来の性能を発揮しない上にピストンが壊れて重大な故障を起こす可能性があります。キット取り付け前に燃料タンクに残っていたガソリンにも注意して下さい。レギュラーガソリンが残っている場合は必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

### F.I. コントローラーについての注意

このキットのみで使用されますとエンジンが重大な故障を起こす可能性があります。必ず弊社製車種専用のF.I. コントローラーを取り付け、燃料増量補正を行って下さい。

## ご使用前に必ずお読み下さい

- 取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。弊社製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。製品を加工等された場合や取り付けられた場合は、保証の対象にはなりません。他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
- 弊社製品は、上記適合車種の専用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。
- 弊社製品の取り付けには上記適合車種にあったホンダ純正サービスマニュアルを参照し、確実に作業を行って下さい。
- 取り付けの際には、工具等を準備し、取り付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書やホンダ純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご依頼されることをお勧め致します。
- カムシャフトレスキット：01 05 0070は、弊社製スポーツカムシャフトの同時装着が必要です。
- キット内のウェイトローラーの取り付けには特殊工具のクラッチセンタホルダが必要になります。
- キットのウェイトローラーはノーマルマフラ、ノーマルブリーでの推奨品を付属しております。マフラやブリーが変更されている場合はリセッティングが必要となる場合があります。また、ウェイトローラーは消耗品です。定期的に点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。
- 必ず慣らし運転を行って下さい。
- このキットを取り付けると出力アップに伴い発熱量も増加します。長時間の高負荷走行には不向きです。
- ボルト、ナット、ノックピン、パッキン類の一部は再使用しますが、摩耗や損傷が激しいものは再使用せず、必ず新品のものをご使用下さい。

**注意** この内容を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- ・一般公道では、法定速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。  
(法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)
- ・作業等を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。(ケガの原因となります。)
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。  
(部品の脱落の原因となります。)
- ・シリンダーヘッドは、必ず指定トルクで増し締めを行って下さい。
- ・ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。また、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。

## ⚠ 警告

この内容を見逃した取り扱いをすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・エンジンを始動させての点検は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。(そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)
- ・ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が周りに無い事を確認して下さい。又、気化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、換気の良い場所で作業を行って下さい。

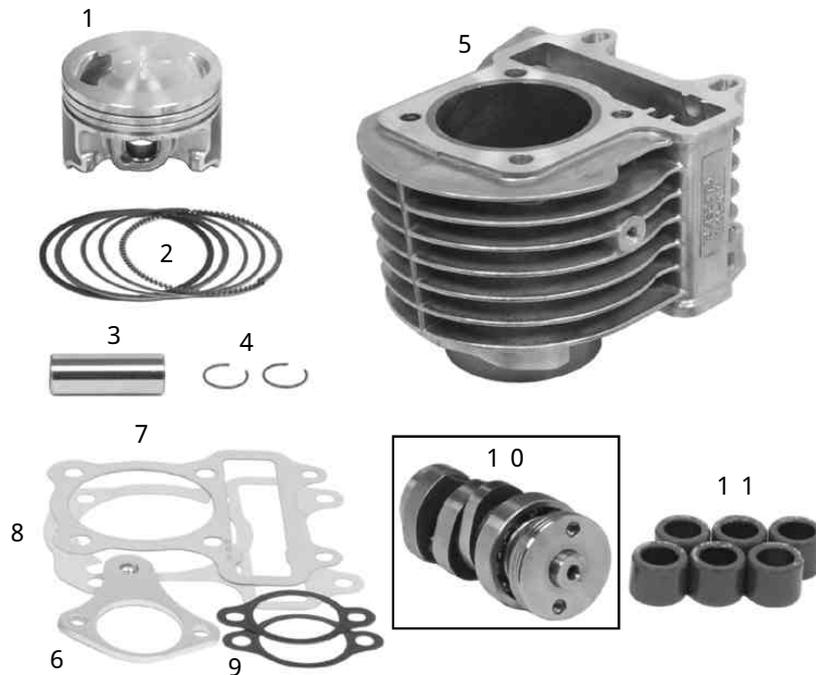
性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

この製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。

この取扱説明書は、本製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

## ～ 商 品 内 容 ～



番号	部 品 名	個数	リペア品番	入数
1	ピストン 53.5mm	1	13104-KZL-T00	1
2	ピストンリング 53.5mm	1	13011-GBG-T00	1
3	ピストンピン 13X36	1	00-01-0091(クリップ付)	1
4	ピストンピンサークリップ 13	2	00-01-0003	6
5	シリンダー 53.5mm	1	01-01-0111	1
6	ハーネスクランプブラケット	1	17570-KZL-T00	1
7	シリンダーヘッドガスケット	1		1
8	シリンダーガスケット	1	01-13-0117	1
9	テンショナーガスケット	2		2
10	カムシャフト	1	01-08-0061	1
11	ウェイトローラー 7g(18x14)	6	00-02-0328	6

10カムシャフトは01-05-0070に付属していません。

リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいます様お願い致します。

# ～ 取 り 付 け 要 領 ～

水平な場所でセンタースタンドを立て、車両をしっかりと安定させる。これからの作業は必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行う事。

取り外した各パーツはホコリやオイルなどの汚れを取り除いてきれいにする。

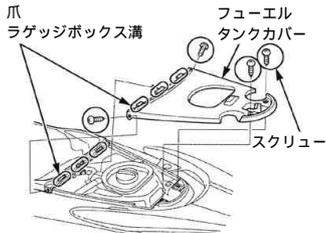
取り外したボルトやナットは無くさないように、どの場所を使用するのかわかるように保管する。

ホンダ純正サービスマニュアルではエンジンを車両から取り外した作業を記していますが、この取り付け要領ではエンジン搭載状態での作業を記しています。このためホンダ純正サービスマニュアルとは違った作業（インテークスタッドボルトの脱着等）が含まれます。

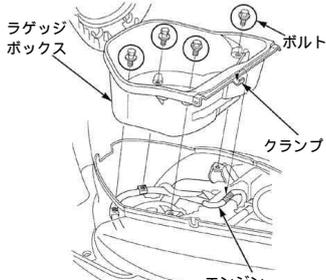
## 外装部品の取り外し

ホンダ純正サービスマニュアルを参考にして外装部品を取り外す。

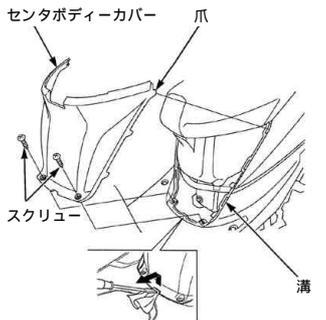
・4本のスクリューを取り外し、フューエルタンクカバーを後ろにスライドさせ、取り外す。



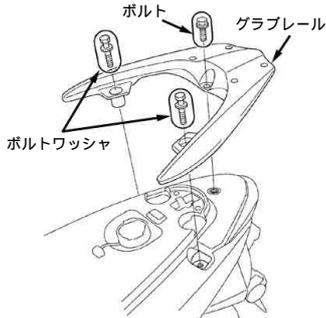
・4本のボルトを取り外し、ラゲッジボックスを取り外す。



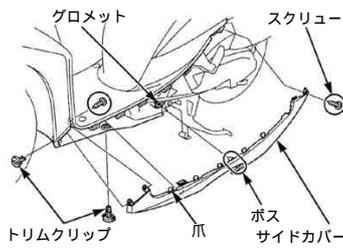
・2本のスクリューを取り外し、先端にウエスを巻いたマイナスドライバー等をセンタボディーカバーの挿込み口に挿し、センタボディーカバー下部を持ち上げてフロアパネルから外す。センタボディーカバーを前方に引っ張り、ボディーカバーから取り外す。



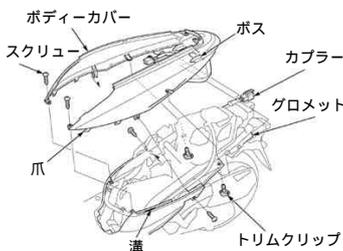
・ボルトワッシャ2本、ボルト1本を取り外し、グラブレルを取り外す。



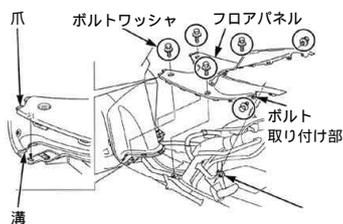
・トリムクリップ2個とスクリュー2本を取り外す。ボスをグロメットから外し、前にスライドし、爪の接続を外してサイドカバーを外す。(左右)



・トリムクリップ2個とスクリュー2本を取り外す。ボスをグロメットから外す。ボディーカバーを後ろにスライドし、爪の接続を外して外す。テールライトの配線のカプラーの接続を外し、ボディーカバーを取り外す。



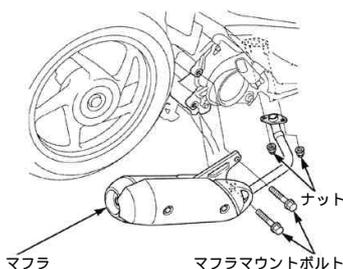
・ボルトワッシャ6本を取り外す。後部ボルト取り付け部を広げてフレームから外し、フロントインナーカバーの溝から爪の接続を外してフロアパネルを外す。



## (ノーマル) エキゾーストマフラーの取り外し

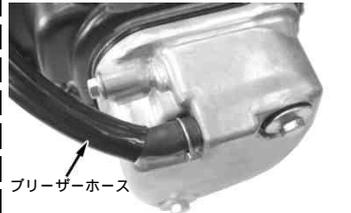
エキゾーストマフラーが変更されている場合は、そのエキゾーストマフラーの取り扱い説明書に従う事。

・エキゾーストパイプ部のナット2個、マフラーマウントボルト2本を取り外し、エキゾーストマフラーを取り外す。

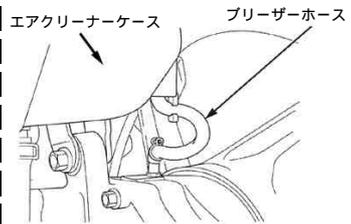


## マニホールド/スロットルボディーの取り外し

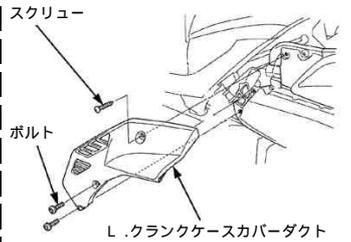
・ブリーザーホースをシリンダーヘッドカバーから取り外し、エアシュラウドのクランプから取り外す。



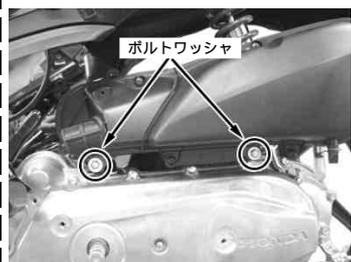
・クランクケースのブリーザーホースをエアクリナーケースから取り外す。



・ボルト2本、スクリュー1本を取り外し、L.クランクケースカバーダクトを取り外す。無理やり取り外して部品を傷つけないように注意。車体から簡単に取り外すことができる。



・エアクリナーケースのボルトワッシャ2本を取り外す。



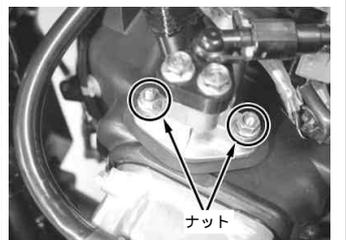
・ボルトを取り外し、フューエルチューブのクランプを取り外す。



・ボルトを取り外し、ケーブルステアーをシリンダーヘッドから取り外し、スロットルケーブルのクランプを外す。

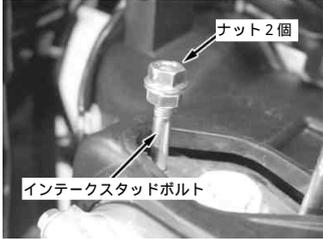


・マニホールドのナット2個を取り外し、シリンダーヘッドのインテークスタッドボルトからマニホールドを抜き取り、マニホールド/スロットルボディー/エアクリナーケースごとずらしておく。インシュレーターとラバーシートを取り外す。フューエルチューブを折り曲げないように注意



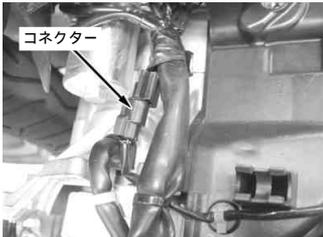
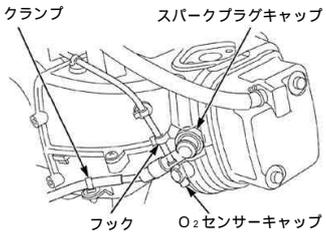
## インテークスタッドボルトの取り外し

・ナット2個を用意し、ダブルナットの要領でシリンダーヘッドからインテークスタッドボルト2本を取り外す。

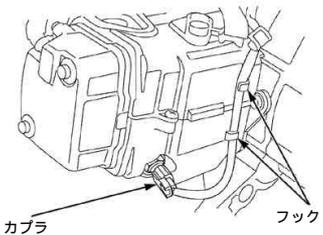


## エアシュラウドの取り外し

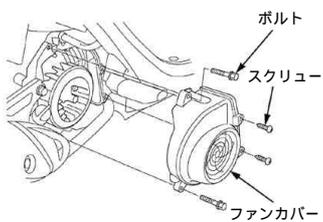
・スパークプラグキャップを取り外し、ハイテンションコードのクランプをエアシュラウドから外す。O<sub>2</sub>センサーキャップの接続を外し、コードをエアシュラウドのフックから外す。O<sub>2</sub>センサーコードのコネクターの接続を外す。



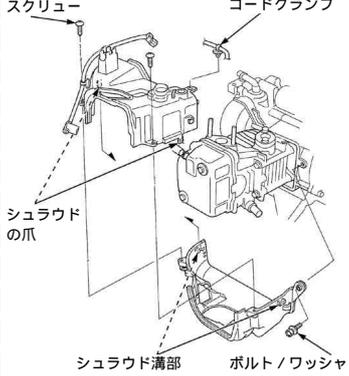
・油温センサーのカブラの接続を外し、コードをエアシュラウドのフックから外す。



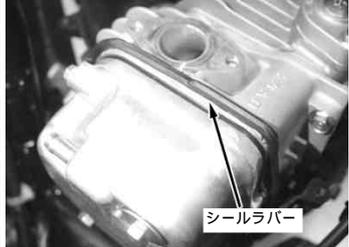
・スクリー2本とボルト2本を取り外し、ファンカバーを取り外す。



・スクリー2本とボルト/ワッシャを取り外し、シュラウド左右の爪を外して上下のシュラウドを分割し、油温センサーのコードクランプを取り外す。

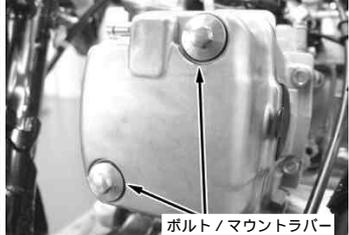


・シリンダーヘッドのシールラバーを取り外す。

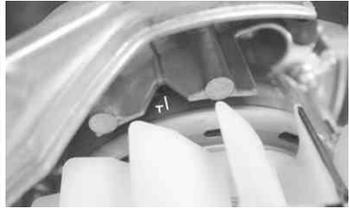


## シリンダーヘッド・シリンダー・ピストンの取り外し

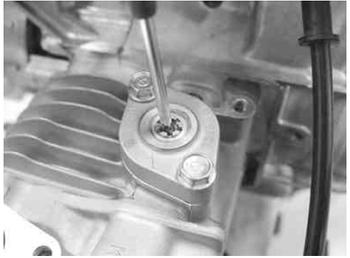
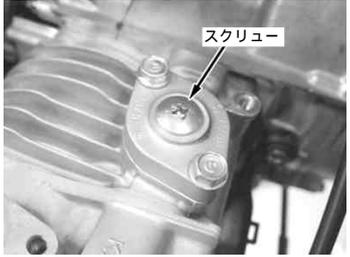
・カバーボルト/マウントラバー2個を取り外し、シリンダーヘッドカバーを取り外す。



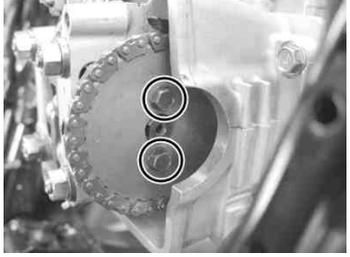
・クーリングファンを時計方向に回し、フライホイールの" T "マークをクランクケースの合わせマークに合い、且つカムスプロケットの " "マークが上(前方)にあるようにする。



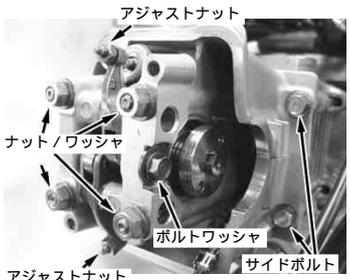
・テンショナーリフターのスクリーを取り外す。リフターを時計方向にいっぱいまで回し、ロックさせる。ボルト2本を取り外し、テンショナーリフターをシリンダーから取り外す。



・クーリングファンを保持し、カムスプロケットのボルト2本を取り外す。カムスプロケットをカム、カムチェーンから取り外す。



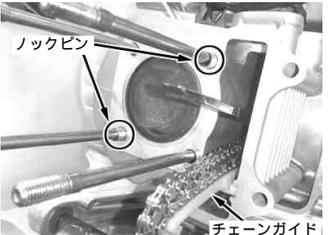
・ロッカーアームのアジャストナットを緩め、アジャストスクリーを緩める。ボルトワッシャを緩めておく。ヘッドサイドボルト2本を取り外す。ヘッドナット4個を対角に数回に分けて緩め、ワッシャ4個と共に取り外す。



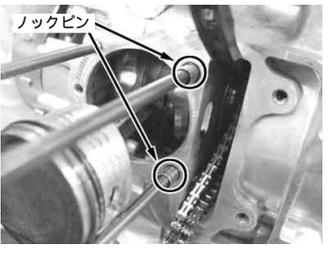
・リアショックのロアマウントボルトを取り外してエンジンの角度を調整し、シリンダーヘッドがフレームと当たらないように取り外す。



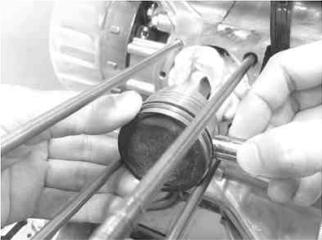
・ノックピン2個やカムチェーンガイドは再使用するので取り外して保管しておく。



・シリンダーを取り外す。ノックピン2個は再使用するので取り外して保管しておく。



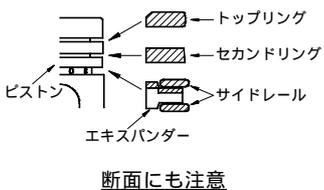
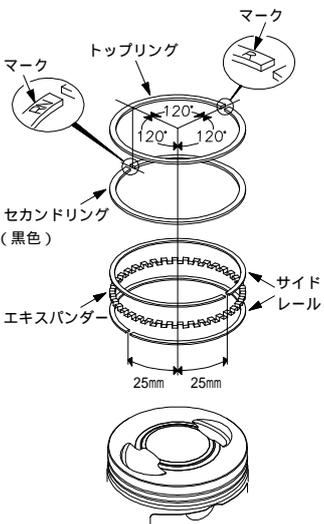
- ・シリンダーが外れた後、ゴミや部品が入らないようにきれいなウエス等をクランクケースのシリンダーホールとカムチェーンホールに詰め込む。
- ・片側のピストンピンサークリップを取り外してピストンを外し、ピストンを取り外す。



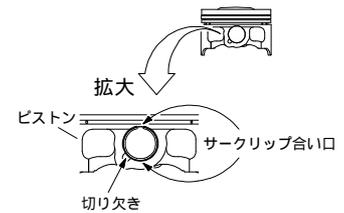
- ・クランクケースにシリンダーガスケットが残った場合はスクレイパーにてきれいに取り除いておく。

### ピストンの取り付け

- ・キットのピストンのリング溝をエブローし、ピストンリングを取り付ける。
- ・2NDリング及びTOPリングは文字が入っている面を上にして取り付ける。
- ・ピストン及びピストンリングを傷つけたり、破損させない事。
- ・取り付け後、リングがなめらかに回転する事を確認する事。
- ・リングの合口は、図のように120度間隔で取り付ける事。



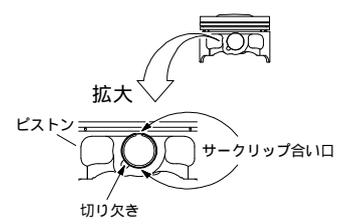
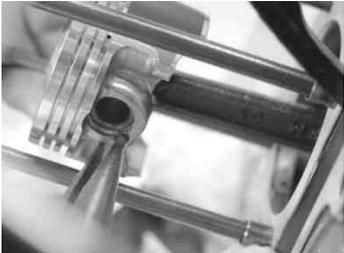
- ・片側のピストンピン穴のサークリップ溝にサークリップを取り付ける。
- ・ピストンピンサークリップの合口は切り欠き部を避けてピストン上下方向に向けて取り付けます。



- ・コンロッド小端部、ピストンピン穴にエンジンオイルを塗布しピストンピンにモリブデングリスを塗布しピストン頭部にある"矢印"をエキゾースト側に向け、ピストンピンを取り付ける。

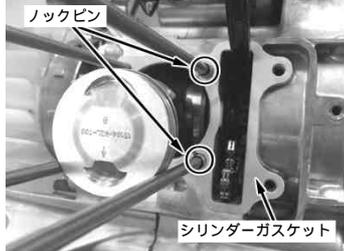


- ・ピストンピンサークリップ溝にピストンピンサークリップを取り付ける。
- ・ピストンピンサークリップの合口は切り欠き部を避けてピストン上下方向に向けて取り付けます。

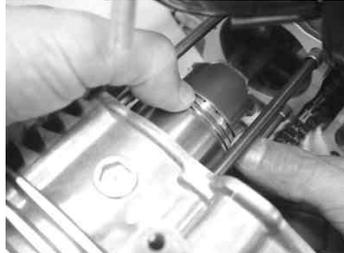


### シリンダーの取り付け

- ・詰めていたウエスを取り外す。
- ・クランクケースのシリンダー取り付け面を清掃・脱脂し、クランクケースにノックピン2個とキットの新品のシリンダーガスケットを取り付ける。

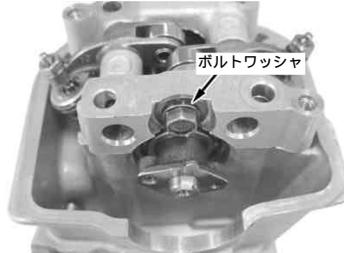


- ・ピストンリング部にエンジンオイルを少量塗布し、なじませる。シリンダー内周部を清掃した後エンジンオイルを薄く塗布する。カムチェーンをシリンダーに通し、ピストンリングを指で圧縮しながらシリンダーを取り付ける。



### カムシャフトの交換

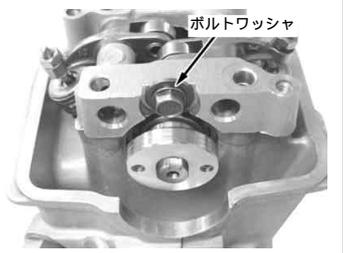
- ・シリンダーヘッドのボルトワッシャを取り外し、ノーマルカムシャフトを取り外す。
- ・カムシャフトが外し難い場合はロッカーアームのアジャストスクリューを更に緩め、取り外す。



- ・キットのカムシャフトのカム揺動部、ベアリング、デコンブカム部にエンジンオイルを塗布する。

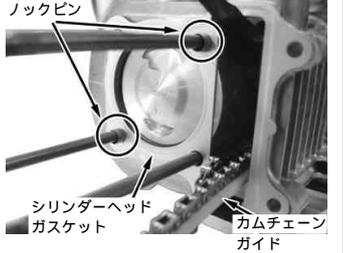


- ・カム山を燃焼室に向け、シリンダーヘッドに取り付ける。シリンダーヘッドにボルトワッシャを仮止めする。



### シリンダーヘッドの取り付け

- ・シリンダー上面を清掃・脱脂し、ノックピン、カムチェーンガイド、キットのシリンダーヘッドガスケットを取り付ける。シリンダーヘッドの取り付け面を清掃・脱脂する。

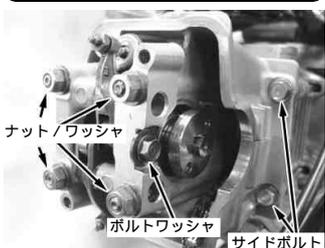


- ・エンジンの角度を調整し、フレームと当たらないようにシリンダーヘッドをシリンダースタッドボルトに押し込み、カムチェーンをシリンダーヘッドに通してシリンダーに取り付ける。



・ワッシャ4個、シリンダーヘッドナット4個を取り付け、シリンダーヘッドナットを対角に数回に分けて締め付け、規定トルクにて締め付ける。シリンダーヘッドのサイドボルト2本を交互に数回に分けて締め付け、規定トルクにて締め付ける。

△注意：必ず規定トルクを守る事。  
**ヘッドナット**  
 : 18 N・m (1.8 kgf・m)  
**サイドボルト**  
 : 12 N・m (1.2 kgf・m)



・仮止めしていたボルトワッシャを規定トルクにて締め付ける。

△注意：必ず規定トルクを守る事。  
**トルク：12 N・m (1.2 kgf・m)**

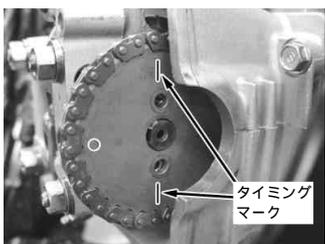
・リアショックのロアマウントボルトを取り付け、規定トルクにて締め付ける。

△注意：必ず規定トルクを守る事。  
**トルク：27 N・m (2.8 kgf・m)**



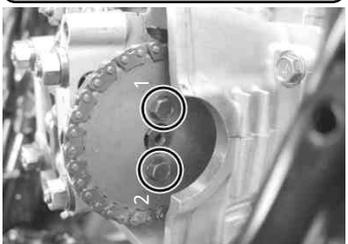
### カムプロケットの取り付け

・フライホイールの“T”マークがクランクケースの合わせマークに合っているか確認し、“ ”マークを前方に向け、タイミングマークがヘッドカバー取り付け面と合うようにカムプロケットをカムチェーンに付け、カムシャフトに取り付ける。



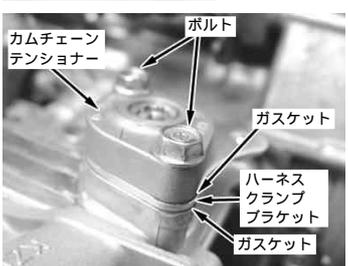
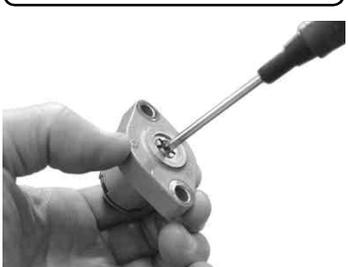
・カムプロケットのボルト2本を取り付け、カムプロケットの番号順に規定トルクにて締め付ける。

△注意：必ず規定トルクを守る事。  
**トルク：8 N・m (0.8 kgf・m)**



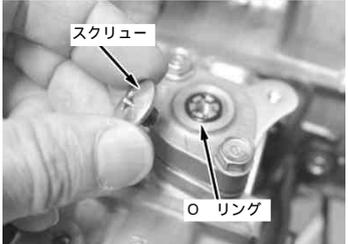
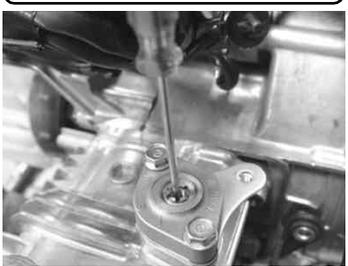
・クーリングファンを2回転時計方向に回し、フライホイールの“T”マークがクランクケースの合わせマークに合わせたとき、カムプロケットのタイミングマークがヘッドカバー取り付け面と合っている事を確認する。  
 ・カムチェーンテンショナーのプッシュロッドがロックしているか確認する。シリンダーにガスケット/ハーネスクランプブラケット/ガスケット/カムチェーンテンショナーの順に取り付け、2本のボルトを取り付ける。

△注意：必ず規定トルクを守る事。  
**トルク：12 N・m (1.2 kgf・m)**



・カムチェーンテンショナーのストッパを反時計方向に少し回し、プッシュロッドのロックを解除する。カムチェーンテンショナーの溝にOリングが付いている事を確認し、スクリューをカムチェーンテンショナーに取り付ける。

△注意：必ず規定トルクを守る事。  
**トルク：4 N・m (0.4 kgf・m)**



### バルブクリアランスの調整

・フライホイールの“T”マークがクランクケースの合わせマークに合い、カムプロケットの“ ”マークが前方に向け、且つタイミングマークがヘッドカバー取り付け面と合っている事を確認する。  
 ・アジャストスクリューとバルブステムの間に0.16mmのシクネスゲージを挿し込み、引き抜くときに少し抵抗があるぐらいに合わせ、アジャストスクリューを固定してナットを締め付ける。

**バルブクリアランス**  
 : IN、EX共に0.16mm (冷間時)

△注意：必ず規定トルクを守る事。  
**トルク：10 N・m (1.0 kgf・m)**



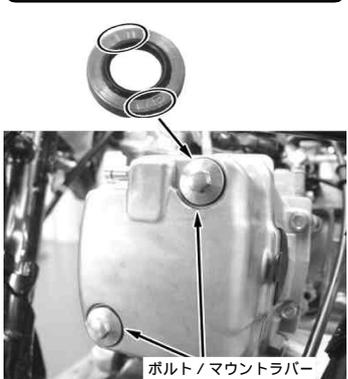
・フライホイールを時計方向に2回転まわし“T”マークをクランクケースの合わせマークに合わせ、バルブ隙間が変化していないか確認する。隙間が変化している場合は再度調整する。この作業を合うまで繰り返す。

・シリンダーヘッドカバーにシールラバーを取り付け、シールラバーの画像に記す隅部分にシール剤を塗布する。  
**シール剤：スリーボンド5211C**  
**又は相当品**



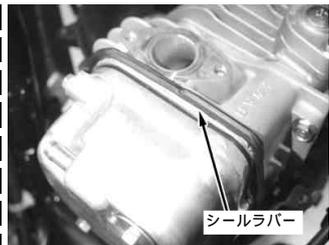
・シリンダーヘッドカバー/シールラバーをカバーボルト/マウントラバー2個にて取り付け、規定トルクにて締め付ける。  
 マウントラバーは“UP”マークを上に向けて取り付ける事。

△注意：必ず規定トルクを守る事。  
**トルク：12 N・m (1.2 kgf・m)**

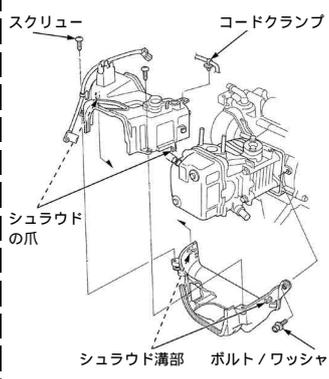


### エアシュラウドの取り付け

・シールラバーをシリンダーヘッドに取り付ける。



・上下のシュラウドをシリンダーヘッドのシールラバーに合わせて取り付け、左右の爪をはめ込む。  
 ホースや配線を噛み込まない事。

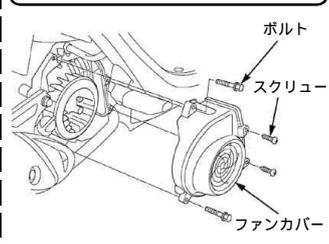


・スクリュー・2本で上下のシュラウドを止め、クランクケースにボルトワッシャ1本で取り付ける。

△注意：必ず規定トルクを守る事。  
**スクリュー**  
 : 0.8 N・m (0.1 kgf・m)  
**ボルト/ワッシャ**  
 : 7 N・m (0.7 kgf・m)

・ファンカバーをはめ、シュラウドにスクリュー・2本で、クランクケースにボルト2本で取り付ける。

△注意：必ず規定トルクを守る事。  
**スクリュー**  
 : 0.8 N・m (0.1 kgf・m)  
**ボルト**  
 : 7 N・m (0.7 kgf・m)



・ケーブルステーをボルトにて取り付け、スロットルケーブルを取り付ける。

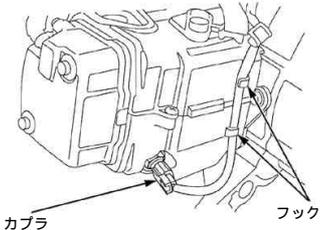
△注意：必ず規定トルクを守る事。  
**トルク：12 N・m (1.2 kgf・m)**



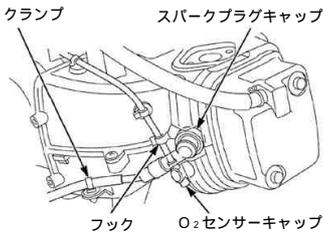
・油温センサーコードのクランプをシュラウドに取り付け、コードをエアシュラウドのフックに取り付け、油温センサーのカブラを接続する。



油温センサーコードクランプ



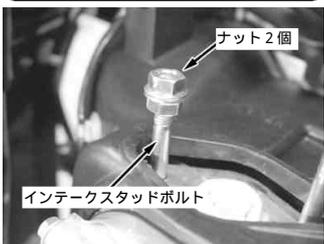
・O<sub>2</sub>センサーコードのコネクターを接続し、コードをエアシュラウドのフックに取り付け、O<sub>2</sub>センサーキャップを接続する。  
ハイテンションコードのクランプをシュラウドに取り付け、スパークプラグキャップを接続する。



### インテークスタッドボルトの取り付け

・スタッドボルト2本をダブルナットの要領でシリンダーヘッドに取り付ける。

△注意：必ず規定トルクを守る事。  
トルク：10N・m(1.0kgf・m)



インテークスタッドボルト

### マニホールドの取り付け

・インシュレーターの裏表の溝にOリングがついている事を確認し、インシュレーターをシリンダーヘッドインテークスタッドボルトに取り付ける。



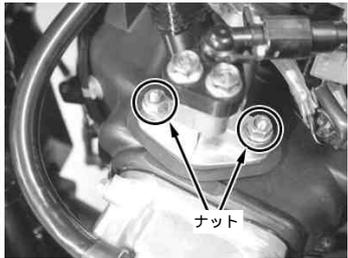
インシュレーター

・ラバーシートを取り付けたインテークマニホールドをシリンダーヘッドに取り付け、ナット2個を規定トルクにて締め付ける。

△注意：必ず規定トルクを守る事。  
トルク：12N・m(1.2kgf・m)



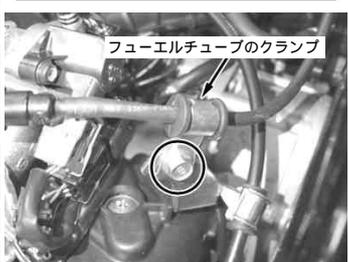
ラバーシート



ナット

・フューエルチューブのクランプをボルトにて取り付ける。

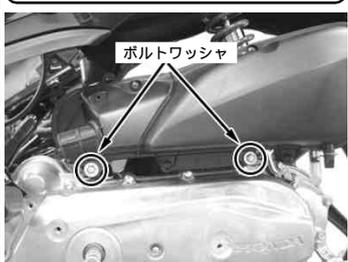
△注意：必ず規定トルクを守る事。  
トルク：12N・m(1.2kgf・m)



フューエルチューブのクランプ

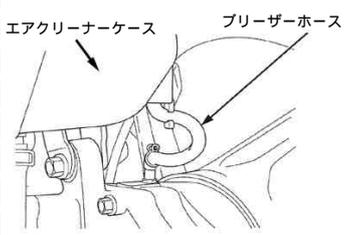
・ボルトワッシャ2本にてエアクリーナーケースを取り付ける。

△注意：必ず規定トルクを守る事。  
トルク：10N・m(1.0kgf・m)



ボルトワッシャ

・クランクケースのブリーザーホースをエアクリーナーケースに取り付ける。



エアクリーナーケース

ブリーザーホース

・ブリーザーホースをシリンダーヘッドカバーに接続し、シュラウドに取り付ける。



ブリーザーホース



ブリーザーホース

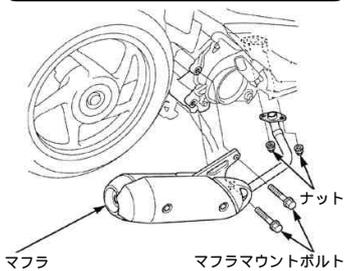
クランプ

### (ノーマル)エキゾーストマフラの取り付け

エキゾーストマフラが変更されている場合は、そのエキゾーストマフラの取り扱い説明書に従う事。

・エキゾーストマフラをセットし、エキゾーストパイプ部のナット2個、マフラマウントボルト2本を仮止めした後、規定トルクにて締め付ける。

△注意：必ず規定トルクを守る事。  
ナット：12N・m(1.2kgf・m)  
マフラマウントボルト：59N・m(6.0kgf・m)

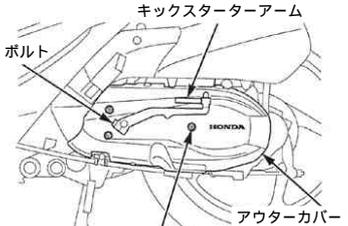


マフラ

マフラマウントボルト

### L.クランクケースカバーの取り外し

・ボルトを取り外し、キックスターアームを取り外す。ボルト/カラー3本を取り外し、アウターカバーを取り外す。

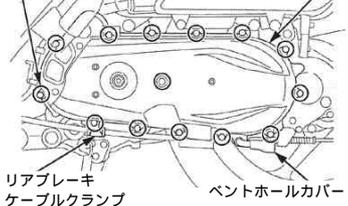


キックスターアーム

ボルト

ボルト/カラー

・ボルト13本を取り外し、L.クランクケースカバーを取り外す。ノックピン2個を取り外しておく。



ボルト

L.クランクケースカバー

リアブレーキケーブルクランプ

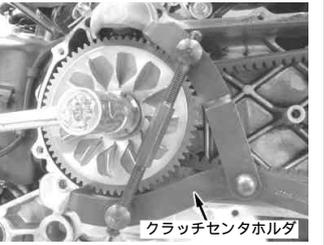
ベントホールカバー

### ウエイトローラーの取り付け

キットのウエイトローラーはノーマルマフラでの推奨品を付属しております。マフラ等が変更されている場合はリセッティングが必要となる場合があります。

次のページに推奨ウエイトローラーを記載しておりますので、ご参考下さい。

・クラッチセンタホルダにてドライブプリーフェースを固定し、プリーフェースナットとワッシャを取り外し、ラチェットプレート、ドライブフェイスフィン、ドライブプリーフェースを取り外す。



クラッチセンタホルダ

・ランププレートとドライブフェイスボスを押さえながら、ムーバブルドライブフェイスを取り外す。

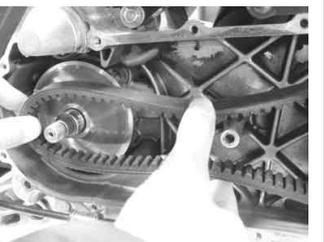
・ムーバブルドライブフェイスとドライブプリーフェース面をきれいに清掃・脱脂する。  
・付属のウエイトローラーをムーバブルドライブフェイスにセットし、ランププレート/スライドピースとドライブフェイスボスを取り付ける。



・ウエイトローラーが落下しないようにランププレートを押さえながらドライブフェイスボスと共にクランクシャフトに取り付ける。

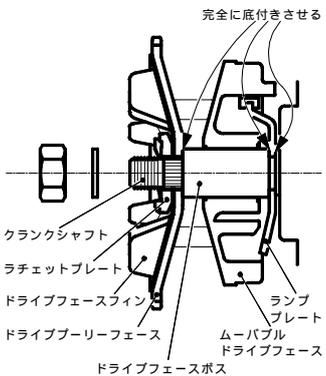


・ドライブベルトをドライブフェイスボスに通す。  
ドリブンプリーを可能なだけ手で広げ、ドライブベルトを出来るだけ引き出しておいてからドライブフェイスボスに通す。



・ドライブプリーフェイス、ドライブフェイスフィン、ラチェットプレートをクランクシャフトのスプライン形状に合わせて取り付ける。この時、ドライブプリーフェイスをドライブフェイスボス側に押し当て、完全に底付きさせる。

ドライブベルトやフェイス面に油脂を付着しないように注意。



・プリーフェイスナットの座面にエンジンオイルを少量塗布してワッシャと共に取り付け、クラッチセンタホルダにてドライブプリーフェイスを固定しながら規定トルクにて締め付ける。

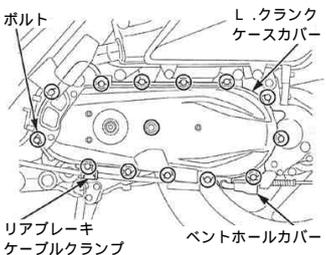
△注意：必ず規定トルクを守る事。  
トルク：108N・m  
(11.0kgf・m)



### L .クランクケースカバーの取り付け

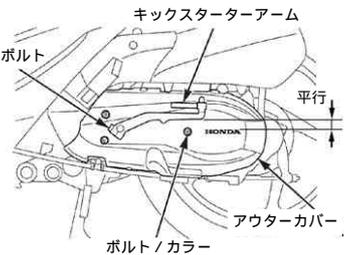
・L .クランクケースカバーガスケットが破損していないか確認する。ロックピン2個を取り付け、L .クランクケースカバーを取り付ける。ボルト13本/リアブレーキケーブルランプを取り付け、対角に数回に分けて規定トルクにて締め付ける。

△注意：必ず規定トルクを守る事。  
トルク：10N・m(1.0kgf・m)



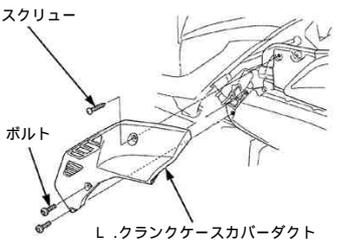
・アウターカバーをボルト/カラー3本にて取り付ける。アウターカバーのHONDAマークと平行になるようにキックスターアームを差し込み、ボルトを取り付け、規定トルクにて締め付ける。

△注意：必ず規定トルクを守る事。  
ボルト/カラー  
：10N・m(1.0kgf・m)  
キックスターアームボルト  
：27N・m(2.8kgf・m)



・L .クランクケースカバーダクトにOリングとカラーがセットされている事を確認して車体にセットし、ボルト2本、スクリー1本にて取り付け。無理やりセットして部品を傷つけないように注意。車体に簡単にセットする事が出来る。

△注意：必ず規定トルクを守る事。  
スクリー  
：0.8N・m(0.1kgf・m)  
ボルト  
：7N・m(0.7kgf・m)



### F .I .コントローラーの取り付け

・弊社製車種専用のF .I .コントローラーを別途用意し、F .I .コントローラー付属の取扱説明書に従い、取り付ける。

### 外装部品の取り付け

・ホンダ純正サービスマニュアルを参考にして取り外した外装部品を逆の手順で取り付ける。

### 走行前の注意

- ・燃料タンクにレギュラーガソリンが残っている場合は、必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替える。
- ・各部を点検し、ネジやナット等の緩みがないか確認する。
- ・エンジンオイルが規定量入っているか確認する。風通しが良く、安全な場所で十分注意してエンジンを始動し暖気運転させる。
- ・エンジンからの異音や、各ガスケット部からのオイルもれがないか点検する。
- ・エンジンを切り、充分冷えた後で各部を点検し、ネジやナット等の緩みがないか再度点検する。

### S ステージでの推奨ウエイトローラー

装着パーツ		推奨
マフラ	プリー	ウエイトローラー
ノーマル	ノーマル	7g×6pcs (キット付属品)
弊社オーバー	ノーマル	6g×6pcs
ノーマル	弊社プリー	7g×3pcs 6g×3pcs
弊社オーバー	弊社プリー	

株式会社 SPECIAL PARTS 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号

TEL 0721 25 1357

FAX 0721-24-5059

お問い合わせ専用ダイヤル 0721 25 8857

URL <http://www.takegawa.co.jp>